
先生

月島 真昼

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

先生

【Nコード】

N3567L

【作者名】

月島 真昼

【あらすじ】

先生、教えてください

離せ、離せ、と喚いてる自分の声がどこか遠くで聞こえる。

その手が外れるはずがないことを知っているからだ。

先生、どうしてですか？

どうしてあいつらはたくさんで俺を殴ってヘラヘラしてるのに、俺はたった一度あいつらに手をあげただけで痛いくらいにあなたに手を掴まれているのですか？

先生、教えてください。

前にもこんなことがありました。あなたの見ていないところでした。あいつらはたくさんで俺を殴りました。合わせて八本の腕で俺を押さえ付けて。俺は必死にもがいて抜け出して、一人を殴りつけました。大人が通りかかります。俺を押さえ付けます。泣いてるのは俺なのに俺の言葉には耳を貸してくれません。

そのあいだにあいつらは逃げました。俺は地面に這いつくばって泣いていました。腫れた頬の痛みと自分の情けなさにとめどなく涙が溢れてきました。あいつらをみんなぶん殴ってやれたらこの涙は止まるはずだと俺は思います。

先生、あなたの手はまだ幼い俺よりもずっと力強いです。だけど俺を助けてはくれないのですか？

先生、教えてください。

あなたもまた這いつくばって泣いているのでしょうか？
自分の情けなさや惨めさにうち震えて。

(後書き)

カッとなってやった
いまでは後悔している

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3567/>

先生

2010年10月9日23時10分発行